

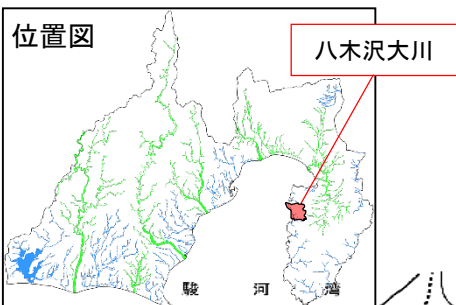
八木沢大川水系流域治水プロジェクト【位置図】

静岡県

～伊豆市八木沢地区を災害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、八木沢大川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 八木沢大川流域では、河川沿いや海岸付近の下流域に住宅地が広がる地形的特性などにより、洪水や津波による浸水被害のリスクが高いことから、河道改修や水門の機能維持を実施する。
- これらの取組により、県管理区間においては、年超過確率 1/5 規模の降雨による洪水に加え、大規模地震・津波からの被害の防止又は軽減を図る。
- 加えて、あらゆる関係者が連携し、水災害リスク情報空白域の解消等、ソフト対策と合わせて流域一体となって激甚化する水害に対し被害の軽減を図る。

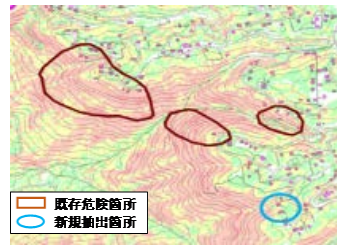
位置図



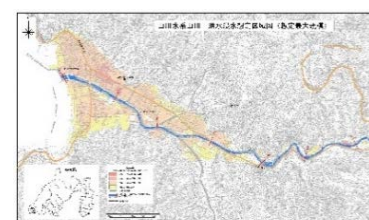
八木沢大川



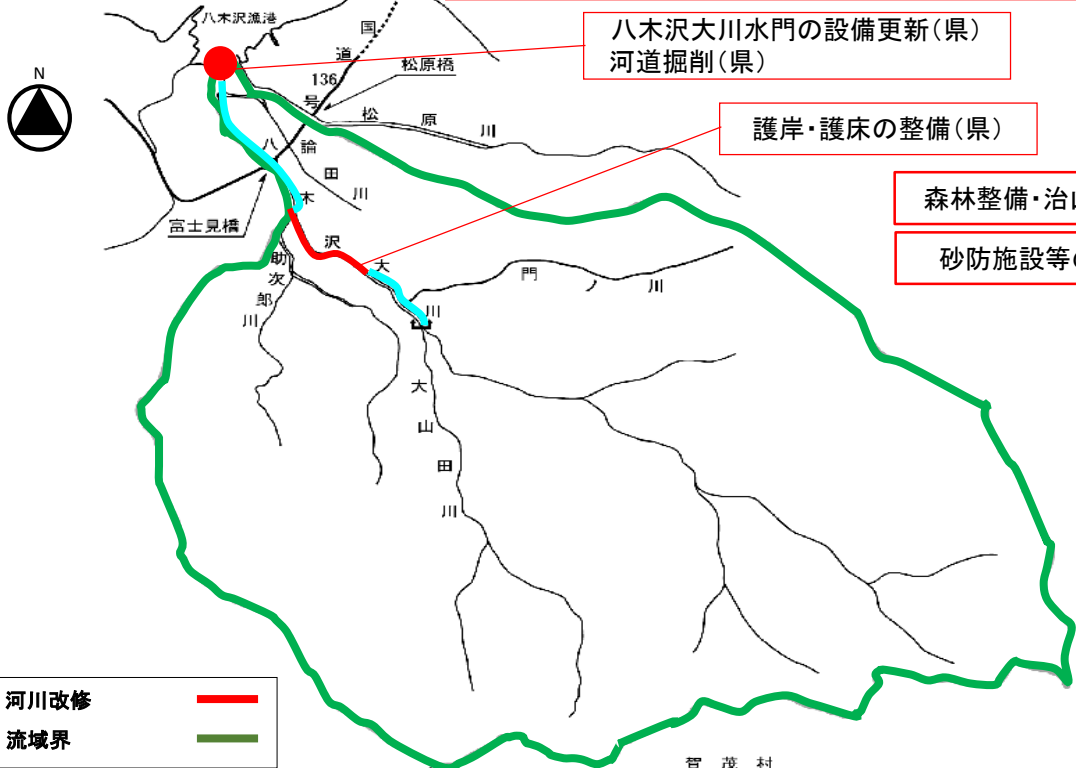
八木沢大川水門の設備更新(扉体・開閉装置の更新等)



土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出



水災害リスク情報空白域の解消(洪水浸水想定区域図イメージ)



八木沢大川水門の設備更新(県)
河道掘削(県)

護岸・護床の整備(県)

森林整備・治山事業(県・伊豆市)

砂防施設等の整備(県)

河川改修
流域界

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 八木沢大川水門の設備更新
- ・ 河川改修(河道掘削、護岸・護床の整備)
- ・ 砂防施設等の整備
- ・ 森林整備・治山事業による流出抑制対策
- ・ 都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導

等

● 被害対象を減少させるための対策

- ・ 土地利用の適正指導
- ・ 水災害リスク情報空白域の解消(土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 水災害リスク情報空白域の解消(洪水浸水想定区域図の公表、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置等)
- ・ ハザードマップの周知及び住民の水災害リスクに対する理解促進の取組(防災出前講座等の実施等)

等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

八木沢大川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

静岡県

～伊豆市八木沢地区を災害から守る流域治水対策～

- 八木沢大川水系では、流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】河川改修を行うとともに、河口部において八木沢大川水門の老朽化した電気・機械整備の更新等を行う。あわせて、水災害リスク情報空白域を解消するため洪水浸水想定区域図の作成を行うとともに洪水ハザードマップの作成・周知、防災出前講座等を実施する。
 - 【中期】河川改修を継続的に実施し、治水安全度の確保を図る。あわせて、都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導等により、安全なまちづくりを推進する。
 - 【中長期】流域全体の治水安全度を確保するため、都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導、森林整備・治山事業による流出抑制対策等の取組を継続的に実施することにより、浸水被害軽減を図る。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|---------------------|---|---------|-----------|----|-----|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 八木沢大川水門の設備更新 | 静岡県 | → | | |
| | 河川改修（河道掘削） | 静岡県 | → | | |
| | 河川改修（護岸・護床の整備） | 静岡県 | ■ ■ ■ ■ ■ | → | |
| | 砂防施設等の整備 | 静岡県 | → | | |
| | 森林整備・治山事業による流出抑制対策 | 静岡県・伊豆市 | → | | |
| | 都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導 | 伊豆市 | → | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 土地利用の適正指導 | 伊豆市 | → | | |
| | 水災害リスク情報空白域の解消（土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出） | 静岡県 | → | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 水災害リスク情報空白域の解消（洪水浸水想定区域図の公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域標識等の設置等） | 静岡県・伊豆市 | → | | |
| | ハザードマップの周知及び住民の水災害リスクに対する理解促進の取組（防災出前講座等の実施等） | 伊豆市 | → | | |

